

平成 30 年度 和歌山県看護研究学会 抄録原稿の作成要領

*抄録原稿は、以下の要領で作成してください。

1. A4 版の用紙を縦に使い、タイトル、発表者氏名・所属名は横書き一段組とし、本文は二段組みとする。A41 枚におさめてください。
2. 上 20 mm、下 25 mm、左 20 mm、右 20 mmの余白をとる。左右上には、縦 35 mm、横 50 mmの余白をとる。
3. タイトル、発表者氏名・所属名、本文、キーワード（キーワードはページの最下段）の順に記載する。筆頭発表者氏名の前に○を記す。
4. 基本的に、字体はすべて明朝体で全角とする。英文やアラビア数字は半角とする。
5. タイトルは 14 ポイント、発表者氏名・所属名・本文は 10～10.5 ポイントの字の大きさにする。タイトルは中央揃え、発表者氏名・所属名は右揃えとする。
6. 本文の字数は 1,200～1,600 字程度、キーワード 3～5 語の範囲でまとめる。
7. 図表がある場合は、図表ごとにタイトルを記載する。図表の文字や数字、写真の内容は、白黒印刷で判読可能かどうか確認したうえで掲載する。
8. 引用文献について
 - 1) 引用文献は引用順に本文の引用箇所の肩に^{1) 2)}と番号をつけ、本文原稿の最後に一括して引用番号順に記載する。
 - 2) 引用文献は次のように記載する。

<雑誌掲載論文>

著者名：表題名、雑誌名、巻（号）、頁、発行年（西暦年次）。

例）学会花子：看護研究の〇〇〇について、〇〇看護、25（11）、p. 35-38, 2008.

例）学会花子、日本協子、清瀬看子、他：看護の〇〇〇研究、第〇回日本看護学会論文集（看護管理）、p. 5-8, 20△△.

<単行本>

著者名：書名（版）、発行所、頁、発行年（西暦年次）。

例）学会花子：看護実践研究の手引き(3)、〇〇看護出版、p. 145-148, 2006.

著者名：表題名、編者名、書名（版）、発行所、頁、発行年（西暦年次）。

例）学会花子：研究における〇〇、日本協子編、看護実践研究(2)、△△出版、p. 76-88, 2007.

<翻訳書>

原著者名：書名（版）、発行年、訳者名、書名（版）、発行所、頁、発行年（西暦年次）。

例）Alice Williams：Nursing Research(4)、2001、学会花子訳、看護研究(4)、〇〇看護出版、p. 298-280, 2003.

<電子文献>

著者名：表題名、雑誌名、巻（号）、頁、発行年（西暦年次）、アクセス年月日、URL.

発行機関名(調査/発行年次)、表題、アクセス年月日、URL.

9. 倫理的配慮とその記述について

- 1) 研究に際しては倫理的配慮がされているかを重要視されます。日本看護協会ホームページ(「研究における倫理的配慮とその記述方法」)を参考にして下さい。

https://www.nurse.or.jp/nursing/education/gakkai/happyo/pdf/ki_jyutsuhoho.pdf

- 2) 演題の発表者には利益相反の申告および開示をしていただきます。

「和歌山県看護研究学会における学術活動の利益相反に関する指針」に則り、研究実施に関わる利益相反状態を抄録に記載し、発表時に公表をお願いします。

「**和歌山県看護研究学会における学術活動の利益相反に関する指針**」については和歌山県看護協会ホームページに掲載されています。